



卒業式式辞より

「セレンディビティ」という言葉を聞いたことはあるでしょうか。少し難しい言葉ですが、「思いもよらなかった幸運」を意味する言葉です。さらには、「幸運な偶然を引き寄せる能力」という意味で使うこともあります。これは、ビジネスの世界においても、最近注目を集めている能力の一つです。自分が意図していない行動や出会いから、新たなアイデアや解決策が生まれる。このようなことを、一つの能力と捉えて使われているのです。

実際に、セレンディビティが大きなチャンスにつながる例がいくつもあります。「付箋」がその一つです。

ある研究員が強力な接着剤の開発をしていましたが、研究の途中で、たまたま貼り付く力の弱い製品が出来上がってしまったそうです。はじめこの製品は失敗とされてしまいましたが、その研究員は紙からはがれていくその様子を見て、一つのアイデアが思いつきます。「この接着剤の弱さを生かして、本のしおりが作れないか。」とひらめき、自由に貼ったり、はがしたりできる「付箋」が商品化されたのです。

それでは、このセレンディビティに自ら出会うためには、どうすればよいのでしょうか。その心得をお話します。

まず一つ目の心得は、「好奇心をもって行動することです。広い視野をもって物事を見たり、いつもとは違う行動を試してみたりすることで、セレンディビティに出会う可能性を高くすることです。」

心得の二つ目は、「様々なものを受け入れる」ということです。自分とは異なる意見に耳を傾けたり、自分とは違う考え方をすると接したりすることが、幸運な偶然に出会うきっかけになるからです。

心得の三つ目は、「物事を前向きにとらえる」ということです。何か想定外のことや起こった場合に、「いやだな」で終わらせるとはならず、「このようになったのはなぜだろう。」と考えてみることで、「ピンチはチャンス」と意識して思うことです。新たなアイデアや次への反省が生まれ、思いもよらなかった幸運に出会う絶好の機会になるわけです。

皆さんは、感染症対策のため、小学校生活の大切な時期に、制限が多い中で生活を強いられました。制限の多い中でも、その中から精神的な強さが育ち、問題の解決能力には磨きがかかったことと思います。「コロナで生活の制限を受けた、我慢させられた。」と思うだけでなく、「制限させられたこと」によって、新しい景色が見えた。「と前向きにとらえてください。制限が多い中でも、力強くくじけず、前に進んできた皆さんです。きつくてきつくとおもうのです。」

今日のように、本校を巣立ちゆく卒業生と、ご臨席を賜りました皆様のますますのご健康とご多幸を心から祈念し、式辞といたします。
令和六年三月十九日
東京女学館小学校校長 盛永 裕一

送別ドッジボール大会 3月4日(月)

体育科 教諭

送別ドッジボール大会は6年生の卒業をお祝いする会でもあります。2月27日から3年生以上で予選が始まりました。どのクラスも、作戦を立てたり休み時間にも練習に励んだりして、一丸となって試合に臨んでいました。予選から互いが全力を尽くして白熱した試合が続き、トーナメントで勝ち上がった4年生と6年生が本戦に出場しました。当日は5年ぶりに全校児童が集まって開会式を行い、全員で準決勝を観戦することができました。大きな声援であふれる体育館、全方向から皆の視線が集まるドッジボールコート。予選とは一味違った雰囲気の中、試合では素早いパス回しや力強くボールを投げたり捕ったりする良いプレーがたくさんみられました。決勝は4年A組対6年B組。熱戦の結果、6年B組が優勝しました。50年以上続く送別ドッジボール大会。思いやりと感謝の気持ちを忘れず、全力でプレーする6年生は最後までフェアプレーを心がけた最高学年らしい姿でした。下級生がこの伝統を引き継ぎ、来年度も良い大会になることを今から楽しみにしています。



来年度運動会のメダル決定

運動会の参加賞になるメダルデザインを全校から募集しました。各クラスで選ばれた候補作品の中から、全校児童で投票を行い、来年度は3年A組児童のデザインに決まりました。はちまきをしめた女学館生が素敵に描かれています。どんなメダルキーホルダーが出来るのか運動会を楽しみにしてください。



鼓笛隊引継ぎ式

6年生音楽担当 教諭

3月11日(月)、体育館に於いて『鼓笛隊の引継ぎ式』が行われました。1年生から4年生が見守る中、5、6年生鼓笛隊に6年生バトン部が華を添え、『小さな世界』『ソラシドマーチ』の力強い演奏が披露されました。その後、6年生鼓笛隊総指揮者 Sさんから1～5年生へのメッセージが伝えられ、5年生鼓笛隊総指揮者 Kさんにしっかりと総指揮棒が引き継がれました。4、5年生新鼓笛隊と5年生バトン部が華を添え、元気いっぱいの演奏が披露されました。新学年での活躍が楽しみです。引き継がれている音色を絶やすことなく、これからも力強い音色を奏でてまいります！

引き継ぎの言葉

6年生代表 6A 児童

これで私達の演奏は終わりになります。今まではコロナ禍で思うように鼓笛隊の活動ができなかったお姉様方がたくさんいらっしゃいましたが、私達はこの1年間思いっきり鼓笛隊の活動をすることができました。運動会や学芸会など、たくさんの場面で演奏することができて楽しかった思い出がいっぱいです。音がそろって素敵な演奏になるようにということ意識しながら、みんな一丸となって毎日のように練習に励みました。そしてみんなからのアドバイスをもらったり、逆に自分がみんなにアドバイスをしたりと、鼓笛隊全員で支え合ってより良い演奏を作り上げることができました。これから引き継ぐ4,5年生にも全員で支え合って思いっきり鼓笛隊の活動をしてもらいたい。頑張ってください！



ひなまつり会 3月1日(金)

1年生 担任

1・2年生による「ひなまつり会」が行われました。音楽朝会が終わるとすぐに鍵盤ハーモニカをセッティングし、うきうきしながら待つ1年生。今までは2年生のお姉さまに迎えていただいていたのですが、この日は1年生の代表が司会をし、2年生のお姉さまを拍手でお迎えします。1年生からは、気持ちのこもった歌と鍵盤ハーモニカの演奏、2年生からは、生き生きとした迫力ある歌の発表がありました。感動的な発表からは、それぞれの1年間の成長が感じられました。その後、1年生から2年生へ、お礼のお手紙とプレゼントをお渡ししました。“新しい1年生のお世話は、私たちに任せてください！”とばかりに、誇らしげな面々でした。最後に全員で「うれしいひなまつり」を歌い、今年度の合同行事を締めくくりました。

「お礼のお手紙」



3年生 七輪体験 2月29日(木)

社会科担当 教諭

3年生は、「くらしのうつりかわり」の中で昔の道具について学習します。今年度、4年ぶりに七輪体験を実施することが出来ました。当日は少し肌寒く、温かい七輪を仲良く囲んで、昔の暮らしに思いを馳せるひとときとなりました。

今日の七輪体験でやいたものは、ほしいもとせんべいです。七輪を使うのははじめてだったので、どれくらいやけがいいのか分かりませんでした。思ったよりずっと早くやけておどろきました。ほしいもは、いつもよりやわらかくてあまかったです。せんべいは、あみのまん中におくほど色がつきました。少しやきすぎてしまったけど、パリパリしていてとてもおいしかったです。家でも七輪を使って料理したいです。 3A 児童

はじめて食べたほしいもも、いつもはちょっと苦手なおせんべいも、すごくおいしかったです。はじめて使った七輪は、こたつみたいで温かったです。七輪で、お魚とかもやっていたことを知っているの、そうぞうするとおなかがすいてきました。また七輪体験をしたいです。 3B 児童



中高のお姉様との交流会 ～ 大谷グローブで野球をしよう④ ～

3月7日(木)

担当教諭

大谷翔平選手から贈られたグローブに関して、一貫教育である東京女学館では小学校で全校児童が見た後、中・高等学校でも期間限定で展示しました。すると、中高ソフトボール部の生徒たちが小学生に野球(ソフトボール)の楽しさを知ってもらいたいという思いをもち、小中高の交流の企画を立てました。6年生で参加を募り、希望者は18名でした。ほとんどの児童が野球未経験です。中高ソフトボール部のお姉様方がグローブのはめ方からボールの捕り方、バットの打ち方、野球のルールなど、一つひとつ丁寧に教えてくれました。6年生は熱心に聞き、キャッチボールやミニゲームに挑戦しました。失敗してもお姉様が前向きな言葉をかけてくれ、いいプレーがあるとチームでハイタッチをして大いに盛り上がりました。「野球を知らなかったけど、中高のお姉様が優しく教えてくださったから楽しかった。」「もっとやりたいと思った。」「野球にとっても興味をもった。」と参加児童が感想を聞かせてくれました。大谷選手の「野球しようぜ」の言葉が女学館でも実現し、野球を通して小中高の交流を深めることができた時間となりました。



生活科校外学習こどもの国 1年生 3月7日(木)

1A 児童

のりものひろばの二人のりじてん車は、うんてんするのがむずかしかったので、タイヤになんどもぶつかったけれど、たくさんわらっておもしろかったです。なかよしひろばはいろいろなすべりだいがあり、たのしくてみんなむちゅうであそびすぎて、どうぶつしゃにいけなかったのがざんねんでした。ソフトクリームがあまくて、つかれがとれました。

1A 児童

いちばんおもしろかったところは、がちょうにえさをあげるところです。えさをあげているときにすしおやゆびをかまれていたかったです。ちゃんとはしらに「かまれるといたいです」とありましたが、もうおそいとおもいました。



1B 児童

先生がいえない足で、ちょっとどきどきしましたが、「のらねこたんけんたい」のうたをうたったら、どきどきがなくなりました。みんなできょう力していったことで、おともだちとますますなかよくなることができました。みんなでたべたソフトクリームは、なんだかすこしくべつなあじがしました。

1B 児童

じぶんたちでけいかくを立てるのはすこしむずかしかったけれど、きまってからはすごくたのしみでした。けいかくどおりにいかなかったこともあったけれど、のりものひろばも、こどもどうぶつえんも、なかよしひろばも、ぜんぶいけてたのしかったです。1年生のよいおもい出になりました。

生活科校外学習こどもの国 2年生 3月14日(木)

2A 児童

一番楽しかったのは、「子どもどうぶつ園」です。なぜかという、ウサギやモルモットをさわったり、だっこできたりして、うれしかったからです。ガチョウにえさをあげると、すごく強い力だったので、少しびくっと体がふるえてしまいました。どうぶつたちのえさの食べ方がそれぞれちがったのも楽しかったです。1年生のお友だちにも、ぜひどうぶつとふれあってほしいなと思いました。

2A 児童

今日は、こどもの国への校外学習でした。いつもよりわくわくして30分前におきてしまいました。わたしは子どもどうぶつ園で、ひさしぶりにクジャクを見ました。にじ色でいいだなあと思いました。くじゃくにおやつをあげたのは、はじめてだったので、どきどきしました。口ばしが手に当たるといたいかなと少し心ばいでしたが、大じょうぶでした。ちょうせんできてよかったです。ソフトクリームを食べた時、つめたくて時間がかかってしまい、手作りのしんせんな味がおもしろかったのに、のこしてしまいました。少なめと言えよかったです。もったいなかったです。また行きたいです。



2B 児童

こどもの国に行った日はとてもはれていてあつかったです。でもあつい日にソフトクリームを食べたので気持ちよかったです。自てん車もとても楽しかったです。友だちと一しょにのったのでこうたいでこぎながら、たくさんわらいました。こどもどうぶつ園ではいろいろなどぶつがいてとてもかわいかったです。またみんなと遠足に行きたいです。

2B 児童

2年生最後の遠足は、天気がよくさい高の1日でした。わたしは時計がかりだったので時間をみんなに知らせるやく目でした。計画していた時間に少し間に合わなくても、あせらず行こうできました。ソフトクリームの量や食べる場所が前とかわっていました。1日とても楽しかったです。3年生の宿泊行事ではもっとすばやく行こうしたいです。

6年生 コイの解剖 3月11日(月)

6年生理科担当教諭

今年も東京女学館小学校で何十年も続けている伝統ある授業「コイの解剖」を行いました。不安な様子で始まった授業でしたが、お友だちと支え合い、最後までやり切ることができました。児童の感想では、「プリントと照らし合わせて、一つ一つの臓器全てを自分の目で観察することができました。」「普段できない経験をし、命の大切さにもっと気付ける大人になりたい、と考えが変わりました。」と、生き物の体の構造を知るだけでなく、生命の脈動も感じ取ることができたようです。実物からしか学ぶことのできない、貴重な体験になりました。



6年生 社会科見学 3月6日(水)

私たち6年生は、東京高等裁判所と国会議事堂に見学に行きました。どちらも実際に使われているところを見学したので、とても迫力がありました。だからこそ実際に本物を見て学ぶという学習方法の大切さに気づきました。そして、模擬裁判や参議院の委員会体験をすることで、その場の雰囲気まで感じることができました。この校外学習が、政治の仕組みや憲法、選挙についてもっと知りたいと思うきっかけとなりました。これから日本という国が、どんな国になっていくのかがとても楽しみです。

6A 児童



6年生 美しい日本語の話し方教室 2月29日(木)

6年生担任

オンラインで劇団四季の「美しい日本語の話し方教室」に参加しました。初めに母音や、連なる音と伸ばす音を意識しながら発声をおこないました。劇団四季の俳優さんの声かけで、子どもたちの発声がとても綺麗になっていきました。最後には「友だちはいいもんだ」を美しい声で歌うことができました。日ごろの言葉づかいを見直す良い機会になりました。



美しい日本語の授業では、滑舌よく相手にはっきりと聞こえる言葉を話す練習をしました。私は幼いころからとても早口で滑舌がよくないなと自分で思っていました。今回、劇団四季の方から日本語をただ話すと、美しく話すことを意識して話すのでは、その言葉を受け取った側の気持ちに大きな差がでることを学びました。おもてなしや思いやりの気持ちにつながる考えだと思ひ、普段から意識していきたいと思いました。 6B 児童

令和5年度 第90回卒業式

教頭 下田 栄子

3月19日(火)に第90回卒業式を記念講堂で挙行了。2月の末から練習を始めた6年生。式での振舞はお互いをお手本として自分をコントロールし、「卒業の歌」は先生達からの叱咤激励のもとハーモニーを作り上げていきました。当日は、一人ひとり、担任の先生の指名呼称にしっかりと返事をして壇上を進み、盛永校長先生から卒業証書をいただきました。式中の柔らかな力強い歌声は、コロナ禍による制限を乗り越え成長されたことを響かせていました。共に歩んできた全員で小学校生活最後の行事も協力し高め合えたこと、立派に一つの節目を迎えられたこと、そして式辞や祝辞をいただいた数々のお言葉は、卒業生の人生を支えるひとつの財産となったことでしょう。同じ場にいられた在校生はお姉さま方の思いを共有し、5年生は学校のリーダーのバトンを引き継ぎました。寂しさを滲ませながらも感謝の気持ちを「送別の歌」と拍手で届けました。今年度寄贈していただいた卒業記念品は、体育館前に設置する2台の浄水機能付き冷水器です。保護者の皆様には卒業式後に心温まる謝恩会まで開催していただき、本当にありがとうございました。教職員皆で、感謝と共に78名の子どもたちのご活躍を心より祈念し、旅立ちを祝福いたしました。 ご卒業おめでとうございます。



生活指導部より

生活指導部長

通学時に所持しているものについて、以下のことを再度ご確認ください。

(1) ICカード

カードマネー機能がついていますが、登下校中は通学以外の目的(買い物等)で使用させないでください。通学に必要な金額を確認して、保護者の方があらかじめチャージしてください。学バスで使用する場合、定期入れにICカードが入っていると、バスの定期券を見せる時に機械に反応して料金をとられる場合があります。利用方法と注意事項については、ご家庭でもご指導ください。

(2) 位置情報端末

位置情報端末は、登下校の安全確認のために所持するものです。メールや通話の機能は使用しません。ご家庭でも使い方の約束を守ってください。

※その他、春休み中に「児童手帳」「保護者のしおり」を読み直し、新年度に向けて学校のきまりをしっかりと確かめてください。(新年度一部変更あり)